

《小学生の部》

佳作（警察庁交通局長賞）

福島県西郷村立熊倉小学校

1年 中里 心花

あんぜんにあるく

わたしは、まいにちともだちといっしょにとうこうはんでがっこうへいきます。

とうこうはんにはおとながいません。だから、みんなできをつけてあるきます。さいしょはすこしふあんだったけれど、いまはともだちといっしょなので、あんしんしてあるいています。

あるひ、しんごうがあおにかわったとき、わたしはあわててあるきだそうとしました。すると、うしろのともだちが、

「まって。くるまがきてるよ。」

とおしえてくれました。もしそのままわたっていたら、とてもあぶなかったとおもいます。ともだちがちゅういしてくれたので、わたしはたすかりました。

いえにかえって、そのはなしをおかあさんにしました。おかあさんは、

「しんごうがあおでも、すぐにわたらないでくるまがとまったかどうかをよくみるのがたいせつだよ。」

とおしえてくれました。わたしは、

「なるほど。」

とおもいました。それから、しんごうがあおになっても、いちどとまって、くるまがとまったかどうかをかくにんするようにしています。

また、あるひのぼんごはんのときに、かぞくでこうつうあんぜんのはなしをしました。おとうさんは、

「くるまのうんてんをしていると、こどもはちいさいからみえにくいときがあるんだよ。」とおしえてくれました。それをきいてわたしは、

「だから、おうだんほどうをわたるときは、てをあげるんだな。」

とおもいました。これからも、ちゃんとてをあげてわたろうとおもいました。

わたしは、かぞくにいろいろなおはなしをきいて、こうつうあんぜんのルールはじぶんのいのちをまもるためにあるんだとおもいました。ルールをまもらなかったら、じぶんがけがをしてしまうし、かぞくやともだちもとてもかなしくなってしまう。

これからもわたしは、しんごうをまもり、おうだんほどうではてをあげて、みぎとひだ

りをよくみます。そして、とうこうはんのともだちとこえをかけあって、みんなであんぜんにかっこうへいきたいです。かぞくにおしえてもらったことをおもいだしながら、げんきにまいにちをすごしたいです。